

平成30年度 木古内町決算

町では、みなさんの税金や国・道からの補助金・交付金によって様々な事業を行い「まちづくり」を進めています。

一般会計をはじめ、水道事業会計や国民健康保険病院事業会計など、平成30年度に使われた「まちづくり」のお金の中身をお知らせします。

歳入 42億7,038万円

(単位：万円、%)

区分	金額	構成比
①町税	50,719	11.9
②地方消費税交付金	8,812	2.1
③地方交付税	210,535	49.3
④使用料及び手数料	5,867	1.4
⑤国・道支出金	39,640	9.3
⑥諸収入	26,241	6.1
⑦町債	36,060	8.4
⑧その他	49,164	11.5
計	427,038	100.0

平成30年度町税の収納状況

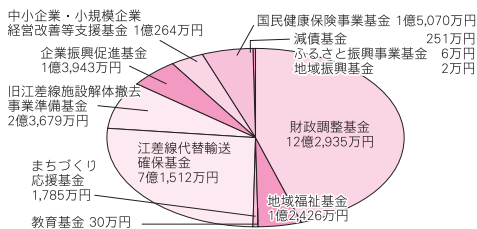
区	分	調定額(円)	収納額(円)	収納率(%)
町民税個人	現年分	145,499,382	143,566,760	98.7
	滞納繰越分	17,407,654	2,032,901	11.7
	計	162,907,036	145,599,661	89.4
町民税法人	現年分	34,561,300	34,499,300	99.8
	滞納繰越分	249,200	0	0.0
	計	34,810,500	34,499,300	99.1
固定資産税	現年分	266,212,600	262,660,972	98.7
	滞納繰越分	24,458,691	4,227,650	17.3
	計	290,671,291	266,888,622	91.8
軽自動車税	現年分	9,775,200	9,663,100	98.9
	滞納繰越分	613,200	98,000	16.0
	計	10,388,400	9,761,100	94.0
町たばこ税	計	49,194,172	49,194,172	100.0
入湯税	計	1,246,050	1,246,050	100.0
合計	現年分	506,488,704	500,830,354	98.9
	滞納繰越分	42,728,745	6,358,551	14.9
	計	549,217,449	507,188,905	92.3

平成30年度の一般会計歳入は、前年度よりも約1億9,200万円の増額決算となりました。

科目別では、繰入金が中小企業等経営改善等支援基金に一般財源で1億5,000万円を積み立てたこと等による財源不足を補うため、財政調整基金から1億9,100万円を繰り入れ、新たに造成した中小企業等経営改善等支援基金から約4,700万円を繰り入れたこと等により約2億5,300万円の増額となりました。諸収入が社会福祉法人木古内救愛会清算譲渡金約2億2,400万円を収入したこと等により約2億1,900万円の増額、国庫支出金が都市計画道路環状線通整備事業の完了により約2億100万円の減額となっています。

なお、町税の収納状況は右上表のとおりですが、前年度に比べ調定額（課税額）は約2,900万円の減額、収納額は約2,500万円の減額となっています。

基金残高 27億1,904万円



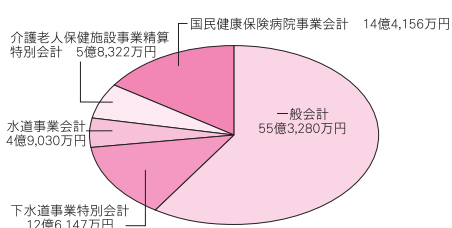
基金とは、町の貯金のことをいいます。地方交付税の減少などにより、平成18年度末には基金残高が約2億3,000万円まで減少しましたが、その後は徐々に増え続けています。

その結果、平成30年度末の基金残高は27億1,904万円となり、前年度と比較して約3億1,580万円増額となりました。

財政調整基金は1億9,100万円を繰り入れたことで1億8,949万円の減額となりました。

また、平成30年度においては、中小企業・小規模企業経営改善等支援基金を新設しています。

町債残高 93億9,350万円



町が公共施設や道路を整備する場合、一般的に国の補助金を財源としますが、補助金だけで財源確保ができない場合、町は地方債（借金）を発行し、財源とします。

整備された公共施設や道路は、長期にわたり、みなさんが公平に利用します。毎年度返済する借金の財源に町民のみなさんが納めている税金などを充て、将来その施設を利用する方にも負担していただくことで、世代間の公平を図っています。

平成30年度末の町の借金の残高は約93億9,000万円、前年度から約3億5,000万円減少しています。

町の貯金・借金の残高は？